

車側面窓の下部

2 着 色 群

青地に白文字

3 用 途 運

行区間が短く、折返

しがひん繁な客車に

対しては第2種を、

客 車 行 先 標 (第2種)

その他は第1種を使用する。(古池義雄)



きゃくしゃようひん 客車用品 客車内または客車に付属する旅客輸送上必要な物品の総称で発電機または寝台用はしご等のように客車を使用する場合に必要な物品、座席カバー・もたれカバー等のように旅客サービス上必要な物品、および客車行先標等のような旅客案内上必要な物品を客車用品という。これらはまた支出費目からつぎのようにわかる。

1 車両新製または改造の際車両費で新調し、修理は修車費支弁のもの。

料理室用冷蔵庫、かまど、燃料箱、料理室用棚、窓掛、寝台用どん帳、寝台はしご、寝台用踏台、書状区分棚、貴重品棚、郵便区分箱、押印台垂帳、1等車・各等寝台車およびその合造車用に備付けのうがい水タンク、1等車・1等または2等寝台車に備付けのタオル置台、タオル捨籠、1等車・各等寝台車に備付けの用便紙はさみ、水石けん入、寒暖計、発電機、その付属納入箱、蓄電池部分品、その電槽(そう)・蓋(ふた)・蓋用がい管・隔離板・提手・所属標・栓パッキング類・パッキング押え、締付ボルトおよびナット・船内函、チェンジオーバースイッチ、オーバーチャージプレベーター、電気扇、電灯具(電球を除く)、床にはめこむタンツボ、固定灰皿、書棚、洋服タンス、表示器、ストーブ、連結箱用連結線。

2 運輸費支弁のもの。

毛布、枕、蚊帳、取はずし得るハンモック、敷布団、シーツおよび枕覆、毛布覆、テーブルカバー、座席覆、もたれ覆、タオル、靴拭、水瓶、コップ、うがい水タンク・タオル置台・タオル捨籠・用便紙はさみ等で1の車両費支弁以外のもの、蓄電池溶液、置灰皿、客車行先標、電車行先標、電車系統別標、3等客車代用標、御召車標、貸切車標、急行列車標、編成順位標、禁煙標、車内投書箱、その他旅客サービスまたは旅客案内上必要なもの。

3 修車費支弁のもの 電球、発電機用調帯。

4 車両新製または改造の際は車両費で新調し、修理補充は運輸費支弁とするもの 蓄電池部分品で1記載の蓄電池部分品を除くもの。

客車用品の運用については、車両費支弁のものは客車所属鉄道管理局において、その運用・保管・保守を行うのであるが、客車転属に際しては、これらの物品はつぎのものを除いて客車とともに転属する。

発電機(付属品納入箱を含む)、蓄電池、チェンジオーバースイッチ、オーバーチャージプレベーター、電気扇。

運輸費支弁のものは所属鉄道管理局において、その運用・保管・保守を行い、客車転属に際しては、原則として客車とともに転属しない。(太田 寿)

ぎゃくたいひ 逆待避 事故あるいは運転整理等やむをえない場合に、上下本線または待避線を区別してある停車場で、一時的に所定以外の線路に列車を進入させて待避させることをいう。

したがって計画的な常例作業にはない。もし1日1回でも常例的に逆待避を行わねばならないような場合には、当然信号機

その他の保安方法を設けて、その待避が逆待避とならないように考慮すべきである。

事故あるいは運転整理等の場合には、列車の運行を瞬時も早く正常に戻し、輸送力の確保を図らなければならないので、運転取扱心得に規定された条件によって保安を確保し、一時的にはやむを得ないので逆待避を行う。

なおこのような場合でも相当長期にわたる見込ならば、早急に線路の切換あるいは信号機の設置等の仮設備を実施して、正当なルートを確保し、あるいはダイヤの組替を行う等、逆待避とならないようにすべきである。(萩原貞次)

ぎゃくてんき 逆転器(電気車の) (英) reverser (of electric rolling stock) 電気車の進行方向の変換、すなわち主電動機の回転方向を転換するため、その電機子または主界磁巻線のいずれかをつなぎ変える装置である。一般に主界磁巻線を転換する方法が多く用いられている。主幹制御器の逆転円筒を前進(または後進)位置に転換して、逆転器の前進コイル(または後進コイル)を励磁させ、電磁コイルの作用により電磁的に、または空気機械を電磁操作により電磁空的に、逆転器主軸を転換して接触部のつなぎ変えを行う。この変換作用は主幹制御器主ハンドルを「切」位置において、主回路が無電流でなければ行われなくなっている。(沢野周一)

ぎゃくてんき 逆転機(内燃車両の) (英) reversing gear 内燃車両に使用する内燃機関は普通一定方向に回転するのみであるが、内燃車両は前後進いずれの方向にも同じ性能で運転されなければならない。このため動輪の回転方向を反対にする装置が必要であって、これが逆転装置である。電気式動力伝達方式の場合は、主電動機の回転方向を反対にするのみで電気車の場合と同じであるが、歯車式・液圧式動力伝達方式の場合では歯車式逆転装置が必要である。

逆転機とは変速機とは別に動輪の逆転を主目的とした歯車装置のことである。機関の動力を動軸に伝えるには普通プロペラ軸と称する自在継手付の軸を使用するが、動軸の回転方向を変える場合には、プロペラ軸を一定方向に回転させたまま動軸のみを逆転させる方法と、プロペラ軸を逆転させる2つの方法がある。前者はプロペラ軸の終端でかさ歯車を含む動軸駆動装置を動軸につりかける方法であって、これを逆転機と呼ぶ場合が多く、普通1軸駆動の車両に装置される。後者は2軸以上の動軸をプロペラ軸で単独に駆動する場合に多く使用される。この場合逆転装置は変速機内にある。

国鉄の歯車式および液圧式ディーゼル動車用に現在使用している逆転機は、動軸につりかけられた2段減速歯車装置であって、図(次ページ)にこれを示す。(猪野淳之助)

キャビテーション (英) cavitation 水車発電機の水車翼・吸出管の表面が、水流中に含まれる気泡(ほう)のために腐しょくされる現象をいう。水流中に真空に近い低圧の空所を発生すると、水中の空気が気泡となって急激に破裂するため、キャビテーションを生ずる。キャビテーションのはなはだしいときは盛金が必要とし、危険で不経済なものであるから、水流中にかかる真空部を生じないような設計が望ましい。腐しょくの程度は水車の使用状態や構造によって異なるが数年ごとの修繕が必要である。(長岐靖隆)

ギヤゆ ギヤ油 (英) gear oil ギヤの潤滑油。ギヤの形式、潤滑方法および使用条件によって低級なものから高級なもの、および粘度の低いものから高いものまで各種の潤滑油が用いられる。しかし最近の設計上の傾向として、高い荷重と速い摩擦速度を持つ小さいギヤが用いられる。これらのギヤには耐圧性